

第6回審議会の開催方法について

1 概要

事業の充実を図るため、平成 28 年度の市の事業予定を紹介し、5人程度の少人数グループで御意見を求めます。身近な暮らしの例を材料に議論を深め、総合戦略第2版案の作成と予算反映を行います。

今回の審議会は、少人数のくだけた議論から、一体的に取り組むべき施策のヒントを得たいと考えています。

2 形式

- ・ 5人程度の少人数での議論をお願いします。各グループに職員が説明及び進行役として同席します。
- ・ 議論の時間は1時間程度を予定しています。議論後、各グループの議論結果について、全体共有を行います。
- ・ 全体共有した議論結果については、総合戦略第2版及び予算に反映していきます。

3 お願い

グループでの議論では、暮らしの例から一体的に取り組むべき施策のヒントを得たいと考えています。委員の皆さんには、以下の問いから身近な例を思い起こしていただきますようお願いします。

Q.市内に在住の方は、身近でどんな人が引っ越しているでしょうか？

Q.他の地域に住んだ経験のある方は、今の地域との違いはありますか？

※暮らしと事業予定の例

例1)【市民意見から】こどもの進学にあわせて地域から引っ越し

←抑制：通学費補助

※補助のみで抑制できるか？

例2)【市民意見から】就職を機に引っ越し

←抑制：地元就職の機会をつくる（地元企業説明会、地元企業 PR 等）

※市外の大学生等にどうやって伝えるか？（口コミ等）

例3)【市施策実績から】県内在住の子育て世代が転入

職場が佐伯、親の介護、持家の建築等

←促進：わかりやすい情報提供

継続：子育て施策の推進

例4)【市施策実績から】県外・県内からのリタイア世代が転入

自然環境の良さ、郷土への愛着、旅行での印象等

←促進：ウェブ以外の情報提供方法

継続：自然環境の保全、郷土愛の醸成